

社会福祉法人 紫野の会 障害者支援施設 かりいほ

# かりいほだより

vol.36

2025年11月号



写真:ハヤトウリと語らい

かりいほだより 年3回発行

編集発行 障害者支援施設 かりいほ

〒324-0231 栃木県大田原市北野上3952番地 TEL 0287-54-2854

<https://kariiho.wixsite.com/home>





## 歯磨きについて

今年の熱中症対策期間では、歯科指導を重点的に実施しました。大人の歯は一生のもの。自分の歯でいつまでも美味しく食事ができるようにと、基礎である「歯ブラシセット」の道具管理から開始。歯磨き前の口すすぎ、歯ブラシの持ち方など段階を踏みながら実施しました。歯磨きでは、力加減が難しく出血してしまう方、歯の裏側を磨くのが難しい方、部分的に磨いている方など、それぞれの問題に直面。しかし、毎日の練習の積み重ねがやがて、昼食後の歯磨きの習慣化につながっていききました。利用者さんからも「磨き方が変わった」「磨けていない部分がわかった」「みんなと一緒にやれてよかった」など自分自身の変化を実感するものとなったようです。この学びを活かしていけるよう継続支援をしていきたいと思います。

寒さも一段と厳しくなってきました。かりいほでは、10月のインフルエンザの予防接種を終え、12月にはコロナウイルスワクチン接種を予定しています。衣服の調整をしながら健康に過ごせるよう努めていきたいと思います。





## 久しぶりのかりいほでの面会

令和7年9月28日(日)、コロナウイルスの影響で遠ざかっていた、施設内での面会を5年半ぶりに実施しました。

保護者会では、今後も感染症対策を実施した上で、定期的な面会、帰省を検討していく旨、施設長より話がありました。

保護者の皆さんには、かりいほの昼食(夏野菜カレー！！)を召し上がっていただき、その後、各居室にてご利用者と保護者さんの面会が行われました。

担当支援員から近況報告を行い、実際の生活状況に触れていただきました。

保護者さんからは、「安心した」「久々に生活の様子を見られてよかった」との声が聞かれ、ご利用者からも「来てもらえてうれしかった」との声が聞かれました。

ご利用者と保護者が集う貴重な機会となり、笑い声の溢れる一日となりました。



## 実習生より

9月24日から10月20日までソーシャルワーク実習でお世話になりました。実習のあいだは、利用者さんの生活や社会福祉の仕事について学びました。特に、旅行で那須岳に登った時のことは記憶に残っています。利用者さんが張り切って登る様子が印象的でした。1ヶ月間ありがとうございました。

日本社会事業大学3年 石井廣大

かりいほでの27日間の実習は多くの利用者さんが私たちを温かく迎えてくださったおかげで、本当にあっという間に感じました。なかでも特に印象に残っているのは運動会です準備の段階から私たちが考えた競技を楽しみにしてくださり、当日は皆さんが真剣に、そして笑顔で取り組む姿がとても印象的でした。私たちもその時間を一緒に過ごせたことを、とても嬉しく思いました。

運動会以外にも、さまざまな活動を通して多くの学びがあり、利用者の方々への理解を深める事が出来ました。今回の経験を大切に、今後の学びや成長に繋げていきたいと思ひます。

日本社会事業大学3年 関根悠跳





## 夏祭り

8月22日に夏祭りが行われました。今年も職員一丸となって利用者に楽しんでもらうために、始まる前に円陣を組んで気合を入れました。

射的、ヨーヨー釣り、輪投げで景品をゲットしようとみんな真剣です。何度もチャレンジしようとする利用者が列ができていました。屋台のかき氷屋さんも夏祭り感があっていいですね。かき氷の他には焼きそばやフライドポテト、唐揚げ、鮎の塩焼き、焼きそば、チョコバナナなど種類豊富で、みんな美味しそうに食べていました。

夏祭りの最後はやはり花火ですね。かりいほでもみんな花火を楽しみ、最後はプチ打ち上げ花火で締めくくりました。





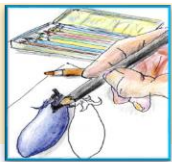
## 土砂災害避難訓練

令和7年7月22日に土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。今年の想定は『大雨が長く続き今後も雨が続くことが想定される為、自主避難をする。』という想定の下行いました。今年は大田原市役所の湯津上庁舎を避難場所として貸して頂き訓練を行いました。

かりいほがある場所は土砂災害警戒区域になっています。毎年訓練を行うようになって今年で避難訓練は4回目で去年よりも避難時の行動はスムーズでした。毎年、行っている成果が見られました。しかし課題も見つけ次回への改善点も見つけました。こうして毎年行う事で本番の時は焦らないでスムーズにできるだろうと思いました。







## 大田原市福祉ふれあいまつりに参加しました！



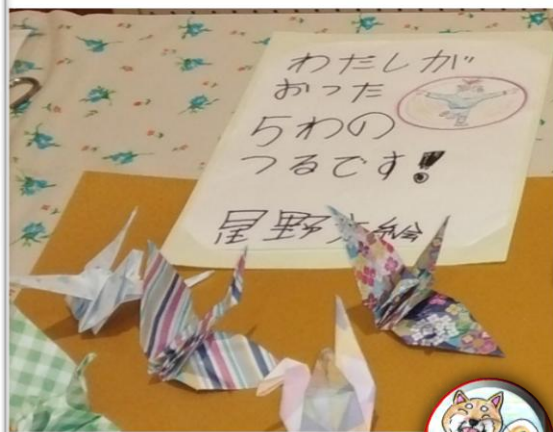
10月4日、大田原市の道の駅与一の郷で大田原市福祉ふれあいまつりが開催されました。大田原市内で活動する福祉施設や就労支援事業所、特別支援学校・障がいを持つ子と親の会・自立支援協議会当事者部会・社会福祉協議会・ボランティア団体などたくさんの方が参加し、ステージ・展示・出店などを通じて、地域の方々とふれあいました。この催しは平成10年から始まり、今年で28回目です。当日の天候はまずまずで、各団体の催しはエネルギー・アイデアにあふれ、これまでにないほどの賑わいとなりました。



かりいほは、出店と展示部門で参加しました。テントではサツマイモ・大根・ジャガイモ・お茶などを販売しました。今年は夏前から猛暑に見舞われ、秋になっても暑い日が続きました。野菜は品薄になり高騰しています。野菜を机に並べるやいなや、通りがかりの人が足を止め品定めをしていきます。かりいほの野菜が、安全・新鮮・安いと三拍子揃っていることは、結構知れ渡っています。開店ほどなく、大根完売です。



一方展示部門では、利用者さんの余暇活動や趣味など、日々の生活の中で生まれた作品を並べました。素直な筆致やユニークな工作に、熱心に見入る方あり何度も足を運ぶ方あり、和やかなブースとなりました。



利用者の皆さんの日頃の頑張りに温かなまなざしと励ましのお言葉をいただいた一日でした。